

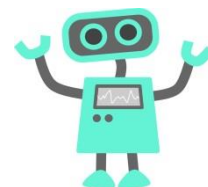
しゅうれんかい(修練会)からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2017年1月16日号(通算第17号)

子どもたちへ (小さなお子さんには読んであげてください)

人工知能を組み込んだロボットが、私たちの生活の中で、色々な所に使われています。これからは、簡単なことや決まったやり方でできることや仕事は、ロボットがやってくれるようになります。そういう時代になったら、人間は何をしたらよいのでしょうか？

そこで、大事になるのは、色々なことを知っていて(知識)、色々なことができる(技能)だけでなく、それらを使って、自分のしたいことをきちんと達成したり、まだわかっていないことを解決したりする「目的を達成すること」「新しいことを開発する創造性」が必要になります。詳しくは、学校の先生に聞いたり、おうちの人と話し合ったりしてください。



大人の皆様へ (パパ&ママ、ジジ&ババ)



もう少し(2030年頃?)で、人工知能の搭載された自動運転の自動車が実用化される時代です。今ある仕事の大部分は、ロボットが担当するようになるという予測があります。さて、そうすると、「人間は何をしたらよいのでしょうか？」が問題になります。

ロボットに苦手なことは、「何に価値があるか判断する(価値観、判断力、生甲斐)」「新しいことを生み出す(創造性)」「教育や心や思いやりに関すること(教育、子育て、介護、福祉・ボランティア)」などで、これらが人間のすべきことに大きく関わることが考えられます。

当然、子育てや子供の教育方針・内容に深くかかわってきます。家族や近所の人、諸会合で話題にしてください。

学校の先生がたへ

今話題になっている人工知能(AI=Artificial Intelligence)とは、自ら学ぶ機械(人間の脳の機能を持ったいわゆるロボット)のことで、人より高度な判断や処理が可能になると言われている。

そこで、学校教育では、どのような事柄を重視して児童生徒の教育を進めて行くべきかが問われることになる。当然、「読・書・算」を中心とした教育の見直しが求められる。

中教審答申や改訂学習指導要領が示している、「今後、子供に求められる資質能力の3つの柱(生きて働く知識・技能)(未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等)(学びを人生や社会に活かそうとする学びに向かう力・人間性など)」をはじめ、どのような人生を送るか、どのような社会・世界を創っていくか、どのような価値観・道徳性を生み出していくか、どのような文化・芸術・伝統などを創り築いていくかなど、創造性が求められるようになると言われている。

その延長線上で、プログラミング教育、PISA読解力、全国学力調査A問題、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング=AL)、キャリア教育、個に応じた教育、学習評価などについて、考察し、授業をつくり、実施していきたい。

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「成美教育文化会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

